



むしろこれから鹿島・太良プロジェクト

鹿島・太良には、人々の生活と共に、食、歴史、文化、自然といった本物の価値ある地域資源が数多く存在します。

このプロジェクトでは、日常の中にある地域資源を活かし、地域の人との出会いを楽しみながら、暮らすように旅をする「スロートーリズム」を生み出すことで、鹿島・太良エリアが何度でも訪れたいくなる場所になることを目指しています。

スロートーリズム推進事業

●地域主体で進める将来像づくり

地域の現状を再分析しながら、目指すべき将来像を議論・共有することで、地域のみなさんと共に将来ビジョンを作り上げていきます。



※イメージ

●地域発案型事業

地域のプレイヤーの事業企画・具現化を伴走支援し、将来的な収益事業にチャレンジする事業です。将来の持続かつ自走可能な事業の創出を目指します。



●グルメブランディング

グルメ含む自然風景や体験をきっかけに県内外から誘客を狙う事業を実施します。



※イメージ

●シンポジウム／イベントの開催

むしろこれから鹿島・太良プロジェクトを知り、プロジェクトの仲間となっていただくためのシンポジウムやイベントを開催します。



KATAラボ

〈KATAラボ〉鹿島(Kashima)、太良(Tara)の未来を語らうラボ

県、鹿島市、太良町のメンバー5名が常駐する現地事務所を開設しています。
地域の皆さんと膝を突き合わせ、日常の暮らしの中にある価値を磨き上げ、花開かせるための伴走支援や地域をつなぐネットワークづくりを支援しています。



鹿島駅エリア整備事業

構想のテーマは、「non-station」、

単に駅をつくるという固定観念の延長でなく

鹿島・太良のスローツーリズムのフロントへと生まれ変わります。



新駅舎は、出会いと滞在の入口へ



お迎えフロント



ラウンジ、ショップ



宿泊施設

※掲載している写真はイメージです

沿線えきやど構想

肥前鹿島駅をフロントに、鹿島・太良全体で「沿線えきやど」という仕掛けづくりにチャレンジ。

鹿島・太良全体を宿に見立てて、旅行者が、肥前鹿島駅にチェックインし、鉄道を使って沿線各地の宿に宿泊し、ゆっくりと鹿島・太良の各地を楽しむような、新しいかたちの旅を提案していく。

